（様式第2号）

記載日： 令和8年8月24日

事業者名	ビュプロ（Brave Invisible World Production）

	分類	チェック項目	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	非該当	具体的な取組（事業者が記載する欄） ※国、市町村等の認証・認定等取得している場合は、その旨も記載してください。	主なSDGs（17のゴール及びターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身、障害などによる差別がないことを確認している	●			・依頼の受付と協力者の選定において、性別・年齢・国籍・障害で区別しない。					5.1			8.5		10.2 10.3							
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	●			・取引先・協力者への威圧的な言動を禁じ、相談は代表が直接受けている。					5.1			8.8									
3		【ワークライフバランス・労働時間】 ・働き方の見直し等により、長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るワークライフバランスを推進している	●			・対応時間を平日9時～18時と定めて公表し、1日の作業時間に上限を設けている。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	●			・代表のほかに従業員はいない。【予定】雇用する場合は、国籍や在留資格を理由とする待遇差を設けない。								8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	●			・画面作業が中心のため、休憩・姿勢・照明に配慮した作業環境を保っている。			3.4					8.8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	●			・無理のない受注量になるよう価格と納期を決め、対応時間を区切って心身の負担を抑えている。			3.4					8.8									
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	●			・障害のある代表が事業を営み、協力者が場所や時間の制約に応じてオンラインで参加できる体制にしている。								8.5		10.2 10.3							
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等、組織の活性化に取り組んでいる		●		・作業時間の上限を決め、休憩と通院の時間を先に業務予定に入れている。			3.4					8.8									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している		●		・【予定】雇用する場合は、業務時間内に学ぶ時間を確保する。				4.4				8.5									
10		【女性の活躍推進】 ・女性の活躍を推進するための取組を行っている		●		・【予定】雇用する場合は、性別で役割や報酬を分けず、育児や介護と両立できる働き方を前提にする。					5.5			8.5		10.2							
11		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている		●		・協力者への報酬は作業の内容と量だけで決め、同じ仕事には同じ対価を払う。								8.5		10.3							
12		【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により、業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる		●		・紙・エクセル・FAXで回る地域の事務をデジタルの仕組みに変える事業を行い、自社の見積・請求・契約も紙を使わない。								8.2	9.4			12.5					
13		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	●			・業務が電子データで完結し、紙や梱包材の廃棄はほとんどない。											11.6	12.5					
14		【エネルギー】 ・自らの事業所のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●			・電気使用量を毎月の明細で確認し、使わない機器の電源を切っている。							7.3						13.2				
15		【温室効果ガス】 ・自らの事業所の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	●			・打ち合わせは原則オンラインとし、移動に伴う排出を抑えている。電気使用量の削減にも努めている。							7.3						13.2				
16		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	●			・事業で有害化学物質を使用していない。機器の廃棄は自治体と販売店の回収経路に従っている。			3.9									12.4					

（様式第2号）

記載日： 令和8年8月24日

事業者名	ビュプロ（Brave Invisible World Production）

	分類	チェック項目	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	非該当	具体的な取組（事業者が記載する欄） ※国、市町村等の認証・認定等取得している場合は、その旨も記載してください。	主なSDGs（17のゴール及びターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
17	環境	【生物多様性】 ・自らの事業所の活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●			・電子機器は回収経路で処分し、紙の使用を抑えて生態系の負荷を減らしている。												12.4 12.5					
18		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	●			・機器は故障するまで使い、書類は電子で保管して印刷しない。紙は分別して資源回収に回している。											11.6	12.5					
19		【水の管理】 ・自らの事業所の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている		●																			
20		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している		●																			
21		【環境情報開示】 ・自らの事業所の環境の取組に関する情報を収集し、開示している		●																			
22		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている		●																			
23		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている		●																			
24		【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる		●	×	・飲食物を扱わない事業のため、該当しない。																	
25		【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用を減らすなど、海洋ごみ削減、海洋汚染の防止に貢献している		●		・納品物がデータのみで、梱包材や使い捨てプラスチックを出さない。												12.5		14.1			
26		【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車、水素自動車などの環境にやさしい自動車の利用を促進している		●		・打ち合わせは原則オンラインとし、対面が必要な場合も県内の移動にとどめる。											11.2		13.3				
27	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職や贈収賄を禁止する方針を掲げ、従業員に教育している	●			・受注や紹介の見返りとなる金品を、渡すことも受け取ることもしない。																16.5	
28		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、従業員に教育している	●			・価格と内容をウェブサイトに明示し、他社を不当に貶める表現を用いない。																16.5 16.6	
29		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取組を進めている	●			・素材のライセンスを一つずつ確かめ、納品前に著作権侵害と剽窃の有無を人の目で確認している。								8.2	9.5								
30		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理し、その取扱いについて従業員に教育している。	●			・問い合わせの情報は対応のみに使い、第三者に提供しない。取引先の機密はAIに入力しない。																16.10	
31		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している		●		・協力者との取り決めに著作権の遵守と守秘義務を明記し、買いたたきをしない。								8.8								16.5	

（様式第2号）

記載日： 令和8年8月24日

事業者名	ビュプロ（Brave Invisible World Production）

	分類	チェック項目	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	非該当	具体的な取組（事業者が記載する欄） ※国、市町村等の認証・認定等取得している場合は、その旨も記載してください。	主なSDGs（17のゴール及びターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自らの事業所の製品やサービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	●			・納品前にリンク・フォームの動作・個人情報の表示を確認し、不具合を直してから納めている。												12.6					
33	製品・サービス	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	●			・全成果物を納品前に検品し、事実関係・著作権・依頼内容を照合している。納品後の修正は2回まで無料。								8.2									
34	製品・サービス	【ユニバーサルデザイン】 ・障害者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている	●			・代表は視線入力のみでパソコンを操作しており、いちばん操作しづらい人が使えるかを設計の基準にしている。 ・納品物はスマートフォンでも読める作りにしている。									9.1	10.2							
35	製品・サービス	【環境配慮製品】 ・環境に配慮した製品の開発、設計を進めている		●																			
36	製品・サービス	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品やサービスの開発、展開を進めている		●		・人手を増やせない小さな事業所向けに、予約・台帳・シフト・帳票などの事務を引き受ける「事務係」を提供している。								8.3	9.4	10.2							
37	社会・地域貢献	【地域への影響に対する配慮】 ・自らの事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	●			・宇部市を中心とする県内の事業所を想定してサービスを設計し、対面の相談にも応じている。											11.3						17.17
38	社会・地域貢献	【社会貢献活動・地域への参画】 ・寄付、ボランティア、地域団体への支援、地域コミュニティの活性化等の活動に積極的に取り組んでいる		●		・無料相談と解説記事の公開で知識を地域に還元し、市の創業支援や地域の集まりに参加している。											11.3						17.17
39	社会・地域貢献	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商等）を行っている		●		・外注や協力は、県内の事業者を優先して声をかけている。								8.3			11.a						
40	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が事業者内に十分浸透し、法令遵守が確実に行われるよう、体制や仕組みが整備されている	●			・特定商取引法に基づく表記を掲載し、公開・契約・納品の前に法令面の確認を代表が行っている。																16.3 16.6	
41	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念や経営目標の事業所内への共有が行われている	●			・経営の方針を明文化してウェブサイトで公開し、日々の判断基準としている。								8.2									
42	組織体制	【組織体制】 ・自らの事業所の活動が社会、環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	●			・社会・環境への影響に対応する責任者は代表が務めている。																16.6	
43	組織体制	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている		●		・著作権侵害と事実の誤りを最大のリスクと位置づけ、納品前の全数検品を工程に組み込んでいる。																16.6	
44	組織体制	【事業所の社会的責任】 ・自らの事業所の活動が社会、環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている		●		・AIを使う制作でも最終的な責任は人が負うことをウェブサイトに明記し、できないことは受けない。																16.6	
45	組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自らの活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している		●																			
46	組織体制	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している		●		・データはクラウドに保管し、代表が急に対応できなくなっても取引先が全データを受け取れる形にしている。											11.5						

（様式第2号）

記載日： 令和8年8月24日

事業者名	ビュプロ（Brave Invisible World Production）

	分類	チェック項目	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	非該当	具体的な取組（事業者が記載する欄） ※国、市町村等の認証・認定等取得している場合は、その旨も記載してください。	主なSDGs（17のゴール及びターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
47		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●		・特定の人しか扱えない仕組みを避け、他の制作者が引き継げる形で作っている。								8.2									
48	持続可能な社会・共創による取組	【SDGsの普及啓発・理解促進】 ・SDGsについて事業者内部に浸透させるとともに、社会課題解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている	●			・国連の2030アジェンダと169のターゲットの原文を読み、自社の取組との対応を本シートに整理している。				4.7								12.8					17.17
49		【連携・共創】 市の「共創の指針」を理解し、自社の経営に関係ある・なしに関わらず、何らかのまちづくり活動に対し、多様な主体と連携し参加している	●			・市の創業支援拠点「うべスタートアップ」の会員として活動に参加し、「うべ企業情報ナビ」に登録している。											11.3						17.17
50		【ESD（持続可能な開発のための教育）の推進】 ・事業者内部または外部で持続可能な社会の担い手を育成する取組を行っている		●																			
51		【若者等の地元定着】 ・若者等の地元就職やUIJターン就職を促進する取組を行っている		●																			

上記以外で設定した取組項目（独自に設定したSDGsに資する取組は、取組レベル「チャレンジ」としてカウントします）

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
障害のある事業者による事業運営	・代表は障害（脊髄性筋萎縮症）があり、在宅で事業を営んでいる。 ・当事業所に従業員はおらず、代表1名で運営している。								8.5		10.2 10.3							
デジタル化から取り残される事業所をなくす	・人手も予算も限られる小さな事業所の事務を、現場のやり方を変えずにデジタルの仕組みにしている。								8.2	9.4	10.2							
判断材料の無償公開	・費用の相場、自作と外注の分かれ目、AIとの付き合い方を無償で公開している。				4.4													

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」項目のすべてに「具体的な取組」が記載され、かつ、3つ以上の「チャレンジ」項目に「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。
また、「独自に設定したSDGsに資する取組」を記載した際は、「チャレンジ」項目としてカウントします。

・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。（今後、取り組む予定のものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
（※SDGsフレンズ登録、宇部市地域活動応援事業者認定制度、宇部市女性活躍推進企業認定制度、地域であんしん見守り愛ネット事業協力事業者、宇部市ごみ減量等流量事業所認定制度、宇部市健康づくりパートナー など）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に「×」を選択し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。